

品川区精神保健福祉家族会

# かもめ会だより

## かもめ会 2021 年度総会のお知らせ

次のタイトルに記載した精神家族勉強会が終了後同じ会場でももめ会総会を行います。

日時 2021 年 5 月 12 日(水)15 時 30 分頃～16 時 30 分（精神家族勉強会の終了後開会）

会場 荏原保健センター 2 階 多目的室

品川区荏原 2-9-6

### 議題

- 1、2020 年度かもめ会活動報告
- 2、2020 年度かもめ会会計報告
- 3、2021 年度かもめ会活動計画
- 4、2021 年度かもめ会予算案
- 5、役員の変更



ペットボトルのお茶とお菓子を少々用意いたします。

次回のかもめ会だよりに総会の委任状を同封いたしますので出欠をお知らせください。

## 2021 年 5 月 12 日 精神保健家族勉強会開催のお知らせ

次の家族勉強会（荏原保健センター主催）は、5 月 12 日(水)「社会資源について」の予定です。

13 時 30 分より荏原保健センター（品川区荏原 2-9-6）2 階多目的室で開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。

参加希望の方は、荏原保健センター ☎ 3 7 8 8 - 7 0 1 6 までお電話ください。

## 2021 年度かもめ会費の納入をお願いいたします

会員の方は年会費 6 千円を、賛助会員の方は年会費 3 千円を同封の赤いインクで印刷した払込取扱票（送金料はかもめ会負担です）を使用して郵便局で払い込んでいただくようお願いいたします。

## □かもめ会見学会の報告です

3月2日(火)午後、今年度2回目となるかもめ会の見学会が開催されました。見学会に伺ったのは、今春オープンしたばかりの自立訓練事業所「まるまる荘品川宿」(戸越5-11-7 FMビル/050-3702-0047)です。当日はあいにくのお天気ではありましたが、総勢15名の皆さんが参加しました。

自立訓練(生活訓練)とは、「障害者総合支援法」に定められた障害福祉サービスのひとつで、障害のある方が自立した日常生活や社会生活が送れるよう、生活能力の維持・向上のための訓練や助言などの支援を行うものです。対象は18歳以上の障害のある方で、利用期間は基本2年間となっています。品川区では他に「心身障害者福祉会館」(旗の台)が実施していますが、精神・発達障害の方向け事業所としては、品川区では「まるまる荘品川宿」さんが初となります。



戸越公園駅前商店街の中にある〇〇荘の入口(白い下駄箱のあるところ)

場所は、東急大井町線「戸越公園駅」のすぐ近く。戸越公園中央商店街の中ほどで、3階建ての建物のうち、1~2階が事業所になっています。

到着後、さっそく1階と2階のお部屋を見学。中は普通のお宅のようで、アットホームな雰囲気です。グループで広く使えるお部屋もあれば、一人で落ち着いて過ごしたい方向けの小さい個室も用意されていました。

活動内容は、利用者の個々の状況や希望に応じて「生活プログラム(調理実習など)」「健康プログラム(体操やヨガなど)」「本などのネット販売」「やる気の活動(クレイフラワーの作成やパソコンの練習など)」から、それぞれ選べるようになっているとのご説明があり

ました。全てのプログラムを通じてコミュニケーション（人と関わる力）を伸ばす取り組みがなされています。

その後、質疑応答の時間となりました。会員からは「2年間しかいられないのか？ 居場所が欲しいのだが」「区から何か補助金などは出ているのか？」「家族からの相談は受け付けてもらえるのか？」「お昼ご飯は持参するのか？」「まるまる荘の名前の由来は？」「夜間の時間に緊急避難場所として利用させてもらえないか？」等、活発な質問が出され、所長の三塚さんも大変わかりやすく、ご熱心に回答してくださいました。

現在は「通所型」のみですが、今後はスタッフさんが利用者の家庭を訪問して支援する「訪問型」のサービス実施もお考えだそうです。また、品川宿での事業が軌道に乗ったら、利用者の方が長く通える場（就労継続支援B型事業所など）のオープンも考えておられるのだとか。ぜひ実現していただきたいと思います。

契約はご本人の意思によりますが、毎日通わなくてもOKとのこと。人生経験豊富なスタッフの皆さんが支援に当たってくださるそうですので、一度お気軽にご見学・体験されてみてはいかがでしょうか。気になる利用料は、昨年度ご本人に特に収入がなければ無料とのこと。手帳をお持ちでない方なども、まずは「まるまる荘品川宿」さんにご相談してほしいそうです。

なお、利用に当たっては、①相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画」をもとに、②区から発行される受給者証が必要です（①②ともに無料です）。ご利用をお考えの方で、すでに他の障害福祉サービスをご利用中の方は、相談支援事業所の相談支援専門員さんにお申し出ください。現在障害福祉サービスをご利用になっていない方は、相談支援事業所を紹介くださるそうですので、直接「まるまる荘品川宿」さんにご相談ください。今年度品川区で新しく開所した、相談支援事業所「スタンドアウト」さんと主に連携されているとのこと。

見学終了後、当初は戸越公園を散策する予定でしたが、雨のため予定を変更し、総勢10名でお隣の喫茶店「しずく」さんへ。急きょ貸し切りとしていただき、クリーム白玉、田舎汁粉、カレー南蛮などお好みのものを頂きながら会話にいつそう花が咲き、親睦を深める良い機会となりました。

カフェタイムの後は、「年輪の会」事務局長の廣田さんに案内していただき、近くの「精神障害者交流スペース”憩いの場”」（エヴァの家/戸越5-11-1/03-3783-7276）へ。当日はお休みでしたので、外から見学しながら、廣田さんに活動内容等をご説明いただきました。

終日風が強く、降ったり止んだりの空模様でしたが、大変有意義な時間となりました。ご参加された皆さん、大変お疲れさまでした。

## □2021年3月10日 精神保健家族勉強会報告

今年度5回目の家族勉強会です。今回は「年間のまとめ」で、参加者は11名でした。前半は、今年度の家族勉強会の振り返り、来年度の予定を話し合いました。

今年度は5月が新型コロナウイルス感染症予防で中止になったため、7月「社会資源について」、9月「成年後見について」、11月「生活保護について」、1月「懇談会」と今回の3月「年間のまとめ」の5回で、各回の参加人数は10～17人ほどでした。生活保護の具体的な金額や成年後見のメリット・デメリットについて話せたことがよかったですと思われる。

来年度については、日程は奇数月第二水曜日です。テーマは変更する可能性があります、予定では「社会資源」、「精神科の薬」、「医療と家族の対応」などを考えております。今回、家族の方々からの意見もいただいたのでそれを踏まえ検討していきます。

後半は、家族勉強会の運営や日頃皆さんが感じている精神障害について情報交換を行いました。精神障害者の家族は孤立していて、精神障害の福祉サービスについて情報を得にくい状態にあり、そのため病院やクリニックに家族勉強会について周知をしたほうが良いと思われる、家族会が発展できるようこれから頑張っていきたい等があがりました。

終了後のアンケートからは、他の家族の考え方が聞けて良かった、講師の話が分かりやすかったなど声がきかれました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、中止や時間が短縮したり、急遽テーマが変わったりしましたが、ご参加していただきありがとうございます。来年度、また新型コロナウイルス感染症の影響で変更することがあるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。

(以上は荏原保健センター黒川保健師さんから原稿をいただきました)

(以下は斎藤玲子さんの精神家族勉強会の詳しいメモのまとめです)

3月10日の勉強会の主な内容は、今年度のまとめと来年度のスケジュール案の検討でした。冒頭に荏原保健センターの飯塚様から、コロナ禍でデイケアが在宅(安否確認)になったこと、また職員は何日か在宅勤務日が設けられるなど三十数年で初めての経験だったこと、家族勉強会も一回中止になったことなどのお話がありました。

今年度は、最初の会となる5月が中止。7月は社会資源についてで、参加者は17名ほど。9月は成年後見についてで、成年後見センターの職員さんによるお話。メリットとデメリットの両方を取り上げていただき、参加者は12名ほど。11月は生活福祉課の係長さんによる生活保護についてのお話。「このくらいの金額で最低基準の生活費になる」「こんな扶助がある」などを具体的にご紹介いただき、参加者は15名ほど。1月は当初、精神科の薬についてご講演いただく予定だったところ、緊急事態宣言発出により講演は中止。急きょ懇談会に変更し、参加者は10名ほど。今年度はおおむね10～17名程度の参加で、少なめではあったけれど、新型コロナの影響の中でも皆さんにご出席いただいたとのお話でした。

飯塚様からは、「勉強会の回数が減ったのは残念だが、3密を避けて実施できたのは良かった」とのご感想がありました。また、「ZOOMでのオンライン会議だったら、参加できるか？」とのご提案をいただきました。参加者から難しいとの声が上がったため、引き続き3密を避

けて、感染予防しながらの勉強会を続けていきたいとお話になりました。

次に、2021年度の勉強会のスケジュールと内容についてのご提案がありました。おおむね2年で一回りできるような内容でご設定いただいているそうです。

- ・5月12日「社会資源について」

(新しくできた制度やトレンドな話題など。グループホームが現状で2カ所くらい増える見込み)

- ・7月14日「福祉サービスについて」

- ・9月8日「精神科の薬について」

(令和2年度に延期になった品川区薬剤師会長をお招きしての講演会)

- ・11月10日「医療と家族の対応について」

(池田さんからご紹介のあった大泉病院の先生を、ご都合が合えばお招きしたい)

- ・1月12日「親亡きあと～今からできること～」 (今から備えておくという意味で)

- ・3月9日「年間のまとめ」 (今年度の反省と次年度のスケジュール案の検討)

ほかに「こんなことをやれないか」「こういう人を呼んでほしい」などの希望があれば、ぜひその旨伝えてほしいそうです。なお、家族勉強会も予算があるので、高い講師をお呼びするのは難しいけれど、東京都や国家公務員、他の区の職員は無料で呼べるとのご提案もありました。

来年度の勉強会の時間は、午後1時半～3時半の予定ですが、今年度は密を避けるために3時で終了としており、来年度も感染の状況によっては時間短縮や中止も考えられるそうです。急な中止もありえるので、当日問い合わせしてから来てもらったほうがいいのかもしいとのことでした。早めに中止が決まった場合は区の広報に載せていただけるとのお話でした。

その後、質疑応答の時間となりました。「講演の際は、後半に個別に相談できる時間を設けてほしい」「品川区の福祉サービスの現状を知りたい」「子どもに就労の意欲があるので、就労系のサービスの内容を知りたい」「勉強会のチラシは、区内だけでなく近隣などできるだけ多くのクリニックに配布してほしい」などの意見が会員の皆さんから出されました。

庄田さんからは、品川区立障害者総合支援施設「ぐるっぼ」内の「につせいかん青物横丁クリニック」の現状について説明がありました。デイケアの実施が見送られたので、一度看護師か先生にお願いして、クリニックの今後についてもかめめ会に説明してほしいと考えているとのことでした。

池田さんからは、「我々家族会の熱意が、そのまま区政に反映すると思う。最近の品川区を見ていると、他の障害者の話題は出ても、精神障害に関する内容となると、議員の方もあまり質問されない。親として大変だと思うが、ぜひ積極的に勉強会に出席してほしい。かめめ会は、他の障害者のグループに比べたらちょっと弱いように思う。他の障害者の会はもっと積極的に意見を言うし、他区などの団体も非常に熱心。自分の反省も含めて、家族会をもっと活性化したい」とのお話をいただきました。

飯塚様からは、「勉強会のチラシ送付は手間もかかるし、切手代もかかるが、できるだけ送付したい」との前向きなご回答をいただきました。

勉強会については、今後も「治療」「親亡きあと」「住むところ」「仕事」の4つを大きな柱として進めていきたいとして、今年度最後となる勉強会をまとめていただきました。

## □重い精神障害者は新型コロナワクチン優先接種の対象になります

厚生労働省の専門家部会は3月18日新型コロナウイルスのワクチン接種について、重い精神疾患や知的障害のある人を優先接種の対象に加えることを了承した。精神疾患で入院中の方や、精神障害者保健福祉手帳や療育手帳を持つ方たち210万人が対象。

2020年12月の専門家部会では精神疾患や知的障害は含まれていなかったが、海外の研究で精神疾患や知的障害のある方が新型コロナに感染した場合死亡や入院のリスクが高まると報告があり、国内関係学会からも要望があり、新型コロナワクチン優先接種の対象とすることになった。

(朝日新聞3月19日朝刊14版の記事より)



## □映画 「夜明け前のうた」 消された沖縄の障害者 紹介

1960年代の沖縄 「精神障害者が隔離された現場写真 入手したジャーナリストが明らかにする国家の罪」とリードがつけられた原義和監督の映画です。

テーマである「私宅監置」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。自由を奪われ尊厳を傷つけられ、それが自己責任にされる政策は形を変えて今も続いています。自宅敷地内に木造やレンガ造りで粗末な牢獄のように立つ悲惨さ。電気もトイレもない場所に監禁された精神障害者は家畜のような扱いを受けてきました。日本本土の私宅監置は1950年に廃止されたが沖縄は復帰後の1972年まで続いていて閉じ込められていた方たちはより大変だっただろうと思われます。3月20日から新宿K's cinema 03-3352-2471にて公開。また4月2日までは「私宅監置 写真展～知られざる沖縄の戦後史」も映画館ロビーで開催中です。

## □4月のかもめ会役員会の連絡

4月の役員会は旗の台の心障会館で開催します

日時 4月10日(土曜日) 午後1時30分～3時30分

会場 品川区心身障害者福祉会館 旗の台5-2-2 03-5750-4995 訓練室1

東急大井町線旗の台駅 南口を出て右方向 徒歩三分

内容 かもめ会総会の準備、来年度事業計画の策定